

委員会の主な活動状況

(2/11~3/10)

総務委員会

発寒清掃工場の更新及びごみの広域処理に向けた協議等についておよび白石破砕工場更新基本計画(案)について環境局から説明を受け、質疑を行いました。(2/28) 第2次まちづくり戦略ビジョン(ビジョン編)のパブリックコメント案の報告、「バリアフリー基本構想」の改定および路面電車の延伸検討状況の報告についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(3/2)

文教委員会

「読書・図書館プラン」策定に関するパブリックコメント実施について教育委員会から説明を受け、質疑を行いました。(2/28)

厚生委員会

「中央老人福祉センター浴室利用についての陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(2/28)

経済観光委員会

交通局の経営状況と持続可能な経営に向けた対応について交通局から説明を受け、質疑を行いました。(2/28)

冬季オリンピック・パラリンピック招致調査特別委員会

冬季オリンピック・パラリンピック招致についてパラノルディックスキー日本チームゼネラルマネージャーの荒井秀樹氏および女子カーリングチームフォルトィウスの近江谷杏菜氏から意見を聴取り、質疑を行ったほか、冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る報告についてスポーツ局から説明を受け、質疑を行いました。(2/16)

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策について感染症コンサルタントの岸田直樹氏から意見を聴取り、質疑を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る報告について危機管理対策室から説明を受け、質疑を行いました。さらに、陳情2件の審査を行い、継続審査としました。(2/14)

第一部 第二部予算特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(2/24)

令和4年度の予算を審査しました。(3/3、3/7、3/8、3/10)

■編集 札幌市議会事務局 政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

モエリ沼公園・さとらんど周辺地区

おだ まさひろ
小田 昌博
自由民主党



問 モエリ沼公園・さとらんど周辺地区について、今後どのように魅力や機能を高めていきますか。

答 市街化調整区域で飲食店などに限り立地を可能にする新基準の設定や、建物の配置・色彩のルールを定める景観まちづくり指針を検討しています。令和4年度から運用予定であり、魅力向上に努めます。



清田区のまちづくり

おんむら けんたろう
恩村 健太郎
民主市民連合



問 交通利便性の向上、区役所周辺のにぎわい創出など、清田区のまちづくりをどのように進めていきますか。

答 地域交流拠点清田のにぎわい創出と都市機能集積に向け、「地域交流拠点開発誘導事業」のエリア拡大、清田区民センターの区役所周辺への移転、区内施設間のアクセシビリティ向上について検討していきます。



第1回定例会

(3/10までに可決した議案など)

- 令和3年度一般会計補正予算 主に、次の内容で総額841億5,300万を補正するものです。
 - ・新型コロナウイルス感染症患者等対策費追加
 - ・飲食店等感染防止対策協力支援費追加
 - ・道路除雪費追加
- ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議 など、合計25件の議案などを可決しました。

問 水素を活用した「災害に強く環境に優しいモデル地区」を都心エリアに整備する意義は何ですか。また、今後の展開はどのようになりますか。

答 水素の利活用拡大は、ゼロカーボンシティの実現に向けた最重要の取り組みと認識しています。モデル街区は、大型車両にも対応できる水素ステーションを整備し、公共交通などの脱炭素化の足掛かりとするほか、災害時は地域に非常用電源を提供します。今後、整備主体となる民間事業者を選定し、令和6年の使用開始を目指します。

医療・福祉の経済効果、都心アクセス道路

たなか けいすけ
田中 啓介
日本共産党



問 市民の健康と命を守るケアに手厚い社会をつくる医療・福祉分野は、経済効果が大きく、市内経済の活性化に資すると思いますが、いかがですか。

答 医療・福祉分野は、サービスの提供で生じる原材料への需要に対する影響は小さいものの、雇用者所得の増加による影響が大きく、他産業と同程度の経済波及効果があると分析しています。今後、同分野はさらなる高齢化などに伴い、産業規模が拡大していくと認識しています。



問 不要不急の都心アクセス道路の建設を中止する決断を求めますが、いかがですか。

答 都心アクセス道路は、速達性・定時性の向上により、観光振興のほか、物流・防災機能・広域医療体制の強化に寄与し、冬季においても機能を発揮する構造であり、社会経済活動の活性化に必要な道路と認識しています。昨年3月には国の第三者委員会の審議を経て新規事業化されたところであり、引き続き北海道開発局と連携し、早期完成に向けて取り組んでいきます。

高齢者を取り巻く多様な課題への対応、今後の大雪への対応

みずかみ みか
水上 美華
民主市民連合



問 終活をはじめとする高齢者を取り巻く多様な課題への対応について、どのように考えていますか。

答 高齢者の孤立死への不安や終活への関心は高いものと認識しており、民生委員や福祉のまち推進センターなどと連携し、見守り活動や研修など市民の安心につながる取り組みを実施しています。終活については、社会福祉協議会によるセミナーの開催や民間事業者によるサービスの提供などがなされています。今後は高齢者を取り巻く多様な課題に対して寄せられる声の内容を注視し、本市としてどう取り組むべきか検討します。



問 例年になく今冬の大雪への対応結果を検証し、今後に生かすべきと考えますが、いかがですか。

答 今冬の大雪では、道路交通にも影響が及んだため、緊急的な対応に努めてきており、その対応の検証は重要だと認識しています。先般、北海道から国やJ北北海道などと連携し共同で検証することを提案されたところです。検証を通じて見いだされる課題を着実に解決することで、大雪時の対応力を強化していきます。

障がい者スポーツの振興、水素モデル街区の取り組み

こぐち とむりさ
小口 智久
公明党



問 共生社会の実現を目指す上で、障がい者スポーツの振興をどのように考えていますか。

答 障がい者スポーツの振興は、障がいのある方の健康の維持・増進に加え、相互理解を促進し、共生社会の実現に資するものと認識しています。競技体験会などを通じて障がい者スポーツの普及に取り組んでいるほか、競技力向上などにも対応する障がい者スポーツセンターの設置も検討しています。今後は障がいの有無に関わらず、誰もがさまざまな形でスポーツに参画できる環境の構築を進め、共生社会を実現していきます。



市議会の動き

2月15日に招集された第1回定例会の中から、2月21日、22日、24日の代表質問の主な内容や、3月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

大雪時における雪堆積場の確保、(仮称)札幌市町内会に関する条例

こたけ ともこ
小竹 ともこ
自由民主党



問 今冬の大雪の教訓を踏まえ、今後は雪堆積場の拡充や公園の利用拡大など、排雪効率の改善も見据えた具体的な対策を取っていくべきと考えますが、いかがですか。

答 過去最大量を上回る大雪でも対応できるよう、緊急時用の雪堆積場や大規模公園など、公共用地を活用した雪置き場などを事前に準備することが重要と認識しています。雪堆積場や雪置き場の段階的な運用により、容量不足を回避することを考えており、大雪でもスムーズに運搬排雪が行える雪堆積場の運用を目指します。



問 現在検討を進めている町内会に関する条例と支援策を通じて町内会の負担軽減を目指すには、本市と町内会の役割分担を改めて整理し、地域の納得感を得た上で進めるとともに、庁内横断で継続的に検討する仕組みを作る必要があると考えますが、いかがですか。

答 条例素案と支援策案の検討では、町内会との意見交換を全区で延べ105回開催し、多くの意見をいただき、反映してきました。今後の意見交換などでの意見も踏まえ、必要に応じて町内会の負担感の軽減や、役割分担の納得感を得られるような事業の進め方を検討します。また、庁内横断的な推進体制の整備について条文に盛り込むことも想定しており、引き続き検討を進めます。